

理事長メッセージ：2015年度を迎えて

一般社団法人日本心理臨床学会 理事長 野島一彦

2014年5月に理事長に選出されました際に、本学会のさらなる発展のために、大きく4つの重点的取り組みを掲げました。新年度を迎えるにあたり、その進捗状況と今後の見通しについてお伝えします。

- 1. 心理職の国家資格化の現実化：**2014年6月16日に国会に提出された公認心理師法案は、11月21日に衆議院解散にともない廃案となりました。その後、本学会を含め関係団体が再提出を求めて運動を行った結果、2015年3月30日に自民党の議員連盟は今国会に公認心理師法案を提出することを決めました。今国会で成立する見込みです。成立後は、本学会は30数年にわたる「臨床の知」をその肉付けの作業に生かしていくように積極的にコミットしていきます。
- 2. 若手・中堅パワーの活用：**本学会には2万7千人超の会員がおり、若手・中堅の会員が多数おります。本学会の活性化のためには、若手・中堅の活躍が必要です。昨年末には、学会ホームページのリニューアルのために、若手・中堅の会員にアンケート調査にご協力いただきご意見を伺いました。今年度は広報委員会が、若手・中堅の活躍の場をつくらうといろいろ企画中です。
- 3. ITの活用：**ITの積極的活用を考えていくために＜電子化専門部会＞が立ち上げられました。当面は、近いうちに学会ホームページのリニューアルをする予定になっています。また、メールニュースで最新情報を会員にお伝えするようにはしておりますが、登録されている会員が約9000名と全会員の1/3なので、登録者をさらに広げていきたいと考えています。さらに学会の年度会費、年次大会や研修会の参加費をクレジットで決済できるようにとということを模索しています。
- 4. 国際化：**国際化という状況を踏まえて、外国からも本学会に関心を持ってもらえるようにということから、『心理臨床学研究』のABSTRACTを既に学会ホームページに掲載しておりました。それに加えて『Online Journal of Japanese Clinical Psychology』を1月20日に学会ホームページに掲載しました。当面は年に1巻ずつ発行していくことにしています。日本の心理臨床の実践と研究を外国の実践家・研究者に知ってもらい、相互交流を深めていけたらと考えます。

<http://www.ajcp.info/en/aboutjournal.html>

- * 事務局体制の充実：**以上の4つ以外に、事務局体制の充実にも取り組んできました。一つは、12月1日付で事務局員を1名増やし、事務局機能の強化を図りました。もう一つは、事務所移転に取り組んできました。6月初旬には、有楽町に移転予定です。移転により、安全性、快適性、利便性が向上します。

<http://www.ajcp.info/pdf/20150324.pdf>